

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2017
November

二年目を迎えた地域国際交流カフェ ～なべよこ国際交流カフェ、さぎのみや国際交流カフェ～

わたしが輝く
イベント・レポート

～ ANIC でボランティア～

夕涼み会

なかのZERO こどもフェスティバル～タイカービング～

夏休み子ども日本語クラス閉講式「やったね!の会」

中野区総合防災訓練

お知らせ

外国人のための専門家相談会

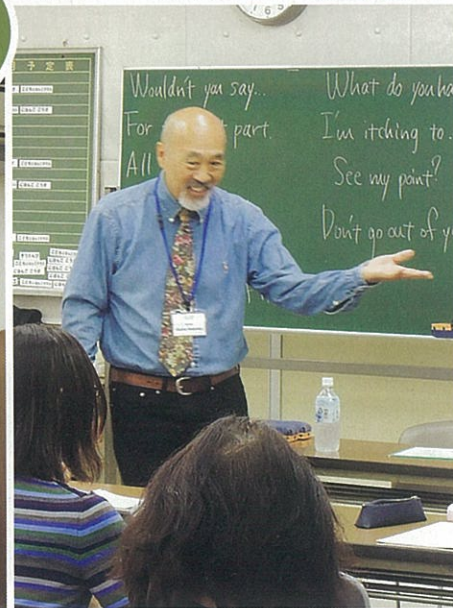
韓国の家庭料理講習会

インターナショナルウィーク

「やさしいにほんご」で行こう!



Welcome
to
あにっく



二年目を迎えた 地域国際交流カフェ

～なべよこ国際交流カフェ、さぎのみや国際交流カフェ～

地域国際交流カフェ立ち上げの経緯

現在、中野区には17,000人以上の外国人住民が暮らししており、区内全住民の約5%を占めています。こうした状況から、日本の方と外国の方が共に豊かに暮らしていくために、地域の生活の中で、相互に理解を深める場が大切であると考えます。そこで、日本の方と外国の方が地域で気

軽に日本語でおしゃべりをする地域国際交流カフェを立ち上げました。

これまで、カフェ運営ボランティアさんのご尽力により、毎回、楽しいテーマを出し合い、各カフェとも10回以上の開催を重ねています。

地域国際交流カフェの活動

○なべよこ国際交流カフェの紹介

各月ごと(今年度は、5月13日、7月8日、10月14日、12月9日、2月10日)に鍋横区民活動センター2階会議室で午後2時～午後4時まで開催しています。

なべよこ国際交流カフェでは、外国の方と日本の方のおしゃべりの合間に、日本の四季にちなんだ行事の紹介やお汁粉づくり、抹茶体験、盆踊り体験など、毎回、工夫を凝らして実施しています。



季節の行事



抹茶体験

ここで、第1回なべよこ国際交流カフェの様子を紹介します。

- 14:00 ・カフェ開始
・外国人を中心に日本語で自己紹介
- 14:10 ・カフェタイム開始
※5～6人のグループに分かれ、お茶とお菓子を囲み、自由に日本語でおしゃべり
- 14:30 ・お汁粉デモンストレーション
- 15:00 ・席替えタイム(別の人達と、自由におしゃべり)
- ・防災イベントの告知、ゴミの出し方の説明
- 15:40 ・カフェの次回以降の開催サイクルの説明
・アンケート配布開始
- 15:55 ・カフェ閉会のあいさつ



第一回なべよこ国際交流カフェ



前回なべよこ国際交流カフェらし

なべよこ国際カフェ、

運営ボランティアの皆さんのコメントです。

・私は以前アメリカに住んでいた時、現地の方々に助けられました。海外で親切にしてもらって本当にありがたい。アメリカが大好きになりました。今度は私が何かお役に立ちたいと思い、カフェ運営に関わらせていただくようになりました。初めは不安そうな方も、全員から名前を呼ばれると表情が和らぎます。一緒に時間を過ごし、日本語でおしゃべりしているとみんな仲良くなり、帰りには「またね」とあいさつ。その様子は本当に素敵です。生まれた所は違っても、みんな仲間。地域に住んでいらっしゃる外国人の方々にも、日本が、そして中野が好きになってもらえるといいと思います。 柏木

・一年前、外国の人たちに何か少しでも役にたつことは出来ないか、という気持ちで始めたボランティア。具体的なプランも特別なノウハウもない白紙の状態から出発した「なべよこ国際カフェ」でした。初対面の人達との何回かの話し合い、取りあえずという部分を残したままの第一回でした。でも、皆で反省を重ね、知恵を出し合い一年間続けてこれました。これからも楽しく参加できたら嬉しく思います。 葦止

2016年2月20日に初めての「なべよこ国際交流カフェ」が、また、同年3月12日には、初めての「さぎのみや国際交流カフェ」が開催されてから、今年で2年目を迎えています。今回は、そのあゆみを振り返るとともに、現在の活動を紹介します。

○さぎのみや国際交流カフェの紹介

各月ごと(今年度は、4月22日、6月17日、9月23日、11月25日、1月27日)に鷺宮区民活動センター3階会議室で午後2時～午後4時まで開催しています。

さぎのみや国際交流カフェでは、外国の方と日本の方のおしゃべりの合間に、主に外国の方から自国のお話を聞く時間を設けています。これまで、ネパール、イタリア、中国、ベトナムなどの生活に根付いた現地のお話をお聞きしました。



ベトナムの紹介



楽しくおしゃべり

ここで、さぎのみや国際交流カフェの最近(第9回)の状況について、運営ボランティアの活動を中心に紹介します。

- 11:00 ・運営ボランティア(買い物班)、事務局集合(準備・セッティング)
- 12:30 ・運営ボランティア全員集合(最終打ち合わせ、次回の日程再確認)
- 13:30 ~ ・受付・会計(運営ボランティア)開始
- 14:00 ~ ・カフェ(運営ボランティア司会)開始
- 14:10 ~ ・ゲストスピーカーの時間
14:30 「私の故郷ベトナム」リ・グエンさん
- 15:35 ~ ・「テーブル・トーク」(1)(各テーブル進行管理:運営ボランティア)
15:10
- 15:10 ~ ・シャッフル(自由に席替え)
15:15
- 15:15 ~ ・「テーブル・トーク」(2)
15:50
- 15:50 ~ ・カフェ閉会
- 16:00 ~ ・運営ボランティア(後片付け、反省&次回打ち合わせ Meeting)
- 17:00 ・退出(運営ボランティア戸締り)

さぎのみや国際カフェ、運営ボランティアの皆さんのコメントです。

・軽快なハワイアンバンドの演奏で「さぎのみや国際カフェ」が始まった。最初は外国人が少ないとのクレーム等が多くあったが、最近は各テーブルに何人かの外国人も入り交流も活発になっている。参加者もイタリア等、多彩になりつつある。日本語の勉強になると、片道3時間を掛けて来るファンもいる。毎回の外国人によるスピーチや終了後の二次会も好評だ。「楽しかった。又来ます」との言葉に励まされている。 twotom

・鷺宮のボランティアの皆さんは親切で、熱心です。私は外国人ですが、国の違い、文化の違いを感じませんでした。心から感謝しています。 グエン ティ ミン リ

・“Think globally, Act locally!”という言葉は、私が若い頃に教わった言葉です。さぎのみや国際交流カフェ(仲間内では“さぎかふえ”と呼んでいます。)は初めは五里霧中の中、試行錯誤をしながら今の形に落ち着きました。毎回いろいろな方々(外国人も日本人も)に出会って新しい発見をしています。これからも地域の皆さんと共に、外国の方に観光とは一味違った日本を～と思っています! 間島



第六回さぎのみや国際交流カフェ



前回のさぎのみや国際交流カフェちらし

地域国際交流カフェ 運営ボランティア募集中

みんなで企画して、準備して、楽しい国際交流カフェをつくりませんか?
ご応募お待ちしております!

わたしが輝く～ANICでボランティア～

通訳・翻訳ボランティア

得意な語学を生かしたい、外国での滞在経験を生かしたいという方にご協力いただいている『通訳・翻訳ボランティア』。英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・フランス語・タガログ語・インドネシア語・アラビア語・イタリア語・ドイツ語・ロシア語・タイ語・ベトナム語・マレー語・スウェーデン語・ネパール語の17言語、180人の方が登録しています。

ニュージーランドとの交流や外国人のための専門家相談会、防災訓練、学校関係の個別の面談等様々な場面で、お時間のご都合のよろしいときに活動していただいています。今回はお2人の方にお話を伺いました。



留学生の感想を通訳する上野さん(左)

上野 景子さん

1. きっかけは？いつから活動していますか。

2年前の夏、なかの区報で「通訳ボランティア募集」の記事を見て登録しました。

2013年に子どもが通っていた学校に、ニュージーランドからの留学生(※)が来ていたので交換プログラムのことは知っていたのですが、そのときは通訳ボランティアの存在は知らず、そういう活動があるならやってみたいと思い、2015年の留学生の受入れから活動しています。

(※) 中野・ウェリントン友好子ども交流

1984年にスタートした事業で、ウェリントンと中野の中学生が隔年でそれぞれの都市を訪問し交流しています。今年も9月30日から10月14日までの15日間、中野区内の中学生のご家庭にホームステイしながら学校体験や都内見学を行いました。各学校での特別授業(琴・和菓子作り・茶道体験など)の通訳や都内見学のサポートを、14人の方にご協力いただきました。

2. 今までどんな活動をしましたか。

「中野・ウェリントン友好子ども交流 2015」の英語通訳ボランティア及びその時のニュージーランドの生徒の感想文の和訳、2016年10月の「姉妹都市韓国ソウル市陽川区訪日団の歓迎宴」でのテーブル通訳(韓国語通訳ボランティアとして)、「中野・ウェリントン友好子ども交流 2017」の英語通訳ボランティアに参加しました。

3. 印象に残っていることは？

今回、栄養教諭の研究授業「日本の行事食を留学生に伝えよう」にニュージーランドの生徒たちが参加し、生徒たちのサポートをしながら、授業の終わりに彼らの感想を通訳しました。感想を言うため留学生と一緒に教壇に立った時はじめて、見学に来ていた先生方が教室の後ろの方にびっしりといらしたのに気づき、びっくりしてしまいました。みな割と長くて通訳するのが大変でした。後になって思い出そうとしても何で通訳したのかも覚えてないくらい緊張していたようですが、授業をされた先生から感謝の言葉を頂き、お役に立ててよかったと思いました。

4. 通訳ボランティアの魅力って？

普段の生活では会うことのない方々と出会えるのもボランティア活動の醍醐味だと思います。一緒にボランティアをした方々もいろんな経験やバックグラウンドをお持ちで、その方々のお話も聞いていて興味深いし、すごく勉強になります。刺激を受けて自分もまたがんばろうという気持ちになります。

大石 雄士さん

1. きっかけは？どうして登録しましたか。

現役時代、海外駐在を繰り返し、どの国の人も優しさを等しく持っていると感じてきました。四方海に囲まれ、安全で自然に恵まれた豊かな日本に生まれた者として、日本に居住または訪れる外国人に、日本をもっと好きになって欲しいと思う心があるからです。2013年に通訳ボランティアに登録しました。

なお、2014年の秋、「なかの生涯学習サポーターの会」の講座で地域活動を探検する分科会があり、その一環でANICを訪ねたことも、ANICの活動を継続するきっかけになっています。国際交流に関心を持つその時の分科会メンバー6人のうち、2人が日本語ボランティア、4人がAPG(ANICのイベントの企画・運営ボランティア)で各種文化活動に今も参加しています。手前みそですがこれは凄いこと、これからも続くことを願っています。

2. 今までどんな活動に参加しましたか
「中野区伝統工芸展」「中野区総合防災訓練」「中野・ウェリントン友好子ども交流」などで、通訳・翻訳ボランティアとして活動しました。ほかにも、「新春の集い」「夕涼み会」「世界の家庭料理講習会」の催行と、「なかの国際交流フェスタ」「インターナショナルウィーク」に参加しました。

3. 活動していて、印象に残っていることをおしえてください。

総じて言えば、「笑顔」です。協会職員・ボランティア会員の皆さん共に、とにかく笑顔なので楽しく心地良い。また、「新春の集い」と「夕涼み会」に参加する外国人の日本の伝統文化への関心の高さ、殊に着物や浴衣を着付けてもらった時のあの嬉しい笑顔は驚きです。着物と縁遠くなった日本人が、逆に日本文化の価値を教えられている気がします。

4. 今後の抱負は！？

2020年東京オリンピック・パラリンピックが間近、中野もさらに国際化していくでしょう。来春の第2回「なかの国際交流フェスタ」を、ぜひ成功させたいですね！



総合防災訓練で伝達事項の翻訳を行う大石さん

通訳・翻訳 ボランティア募集

随時募集しています。資格等の申込み条件はありませんが、経歴や得意分野等を伺います。まずはANICまでご連絡ください。登録用紙をお送りします。

イベント／レポート

夕涼み会

7月20日(木)、恒例の「夕涼み会」をなかのZERO西館で行いました。130名を超える来場者の方でにぎわいました。

浴衣を楽しみに早くからいらっしゃる方もありました。79名の方が浴衣を着て、金曜ボランティアが提供した「かき氷」や明治大学が提供してくださった「ボウリング」「坊主めくり」、また、東亜学園の生徒がお手伝いしてくださった「ヨーヨー釣り」「スーパーボールすくい」「玉入れ」「輪投げ」を楽しみました。

スペシャルゲストに泉流師範：泉 雅彩様に日本舞踊を見せていただきました。実際に体験をする時間も設けられました。外国人の参加者にとっては、初めての日本舞踊体験でしたが、丁寧な踊りのご指導のお蔭で、とても楽しく踊ることができたようでした。

会場のあちこちで、参加者、ボランティアの方々が談話する輪が見受けられ、日本の祭りは交流の場であることもあらためて感じられました。

中野区総合防災訓練で
情報翻訳訓練を実施

9月24日(日)、区立第八中学校で「中野区総合防災訓練」が行われました。ANICは、多言語情報センターを開設し、本部からの情報を、英語、中国語、韓国語、スペイン語、やさしい日本語に翻訳し、情報センターの掲示板に掲示しました。

翻訳訓練には、7名のボランティアさんが参加し、わかりやすい表現について工夫をしながら、日本語が十分に理解できない外国人の方への情報提供を行いました。中野区には、現在17,000人を超える外国人の方が住んでいます。災害時のサポート体制を充実させていくためにも、通訳・翻訳ボランティアの役割は大変重要です。中野区国際交流協会では、ボランティアの登録を常時受け付けています。大勢の方々のご参加をお待ちしています。

なかのZEROこどもフェスティバル
～タイカービング～

8月6日(日)、なかのZEROが主催する「こどもフェスティバル」で中野区国際交流協会の元日本語学習者で現在はタイカービングの講師をしている大内オラニーさんが、子どもたちを対象に石けんでのカービングのワークショップを開催しました。丸い石けんに、専用のナイフを使って花びらを掘っていきます。勢いよく掘りすすめる子、一つ一つ丁寧にゆっくり掘る子と様々ですが、15分ほどで完成です。約50人が参加し、思い思いのお花の作品ができました。



カービングの仕上げ作業を行う講師

夏休み子ども日本語クラス
閉講式「やったね!の会」

8月23日(水)は「夏休み子ども日本語クラス」の最終日でした。

区、教育委員会からのお客様、学校の先生方、保護者の皆様、近隣の方々をお迎えして、夏休みの勉強の成果を日本語のスピーチという形で発表しました。

来日間もない子どもたちは、簡単な自己紹介や好きな食べ物について、日本語で作文を書くことに挑戦した子どもたちは、将来の夢や学校生活の思い出、家族のこと、日本で気づいたこと…などについて、ひとりひとり、がんばってしっかりと表現しました。

この夏は、37人の子どもたちが日本語を学習し、23人に上る日本語ボランティアの方が日本語指導をしてくださいました。

連日猛暑が続く中で、みんな がんばりました。ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。



元気に「やったね!」



すぐに伝わる表現を!通訳・翻訳ボランティア

外国人のための専門家相談会

Expert consultation for foreigners

無 料
Free of Charge

予約不要
No Reservation

秘密厳守
Privacy Guaranteed

日時
Date 11月11日(土) November 11th (Sat)
13:00 ~ 15:30

言語
Languages English・汉语・한국어・Filipino・
Spanish・Portuguese・عربي・
やさしい日本語・ネパール語

会場
Place なかのZERO西館
(法律、ビザ、税務、労働 他)

韓国家庭料理講習会

参加者募集

韓国出身の方から、チヂミ、プルコギ
などの作り方を日本語で教わります。



日時: 11月17日(金) 10:00 ~ 14:00

場所: 障害者福祉会館 調理室 (沼袋2-40-18)

参加費: 1,000円 (材料費)

定員: 外国人・日本人 (20名)

申込: 11月6日(月) 締切。電話またはメールで、住所、氏名、電話番号を上記協会までご連絡ください。先着順。

インターナショナルウィーク

世界のなかの中野を身近に感じませんか?

日時: 11月28日(火) ~ 12月1日(金)

場所: なかの区役所1Fロビー (午前9時から午後5時まで)
中野区役所前広場 (午前10時から午後3時まで)

中野に住む外国人人数国別ランキングパネルを見て回答したクイズの正解者にオリンピックグッズなどを進呈! 世界のお菓子や屋台も楽しめます!

International Week



「やさしいにほんご」で行こう! おけいこ その7

総合防災訓練の多言語情報センターでは、やさしい日本語での情報提供も行っています。今回は、東京都防災語学ボランティア研修からいくつかの簡単な例をご紹介します。

《単語》

1. 停 電⇒でんきが とまって います。
2. 余 震⇒まだ じしんが あります。
3. 給水所⇒みずが あります。
のむ みずを もらえる ところです。
4. 公共交通機関⇒ばすや でんしゃ
5. ライフライン⇒みず、がす、でんき、でんわ など

《情報提供》

1. ただちに避難してください。
⇒すぐ にげて ください。
2. 断水の恐れがあります。
⇒みずが でない ことが あります。
3. 電車が運転を見合わせています。
⇒いま でんしゃは つかえません。
4. 電車は満員です。
⇒でんしゃ には ひとが たくさん います。

編集後記

この秋から新たな講座も始まり、日本語教室でも沢山の外国の方が元気に勉強しています。日本の方も外国の方も楽しく学べる場を提供していきたいと思ひます。(S)



▼ HP



▼ facebook

